

第6期・第7期・第8期二一ス調査の概要

名称	(第6期)日常生活圏域二一ス調査	(第7期)介護予防・日常生活圏域二一ス調査	(第8期)介護予防・日常生活圏域二一ス調査
目的 (調査票の作成段階での想定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の身体機能の状況、閉じこもり、認知症等のリスク要因や世帯状況など地域の高齢者の状況を把握した上で、地域が抱える課題に対応したサービスや事業の目標設定を行い、計画に位置づけ、介護保険事業計画策定に活用すること</li> <li>調査で把握されたリスクのある高齢者に対する介護予防事業への誘導などの支援を行うこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること</li> <li>新しい介護予防・日常生活支援総合事業の管理・運営に活用すること</li> <li>介護保険事業計画における新総合事業部分の策定に活用すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること</li> <li>介護予防・日常生活支援総合事業の価値に活用すること</li> </ul>
調査対象	特に限定なし	要介護1～5以外の高齢者	
調査項目数	96問	必須項目33問(見える化への登録、地域診断の活用を想定) オプション項目30問	必須項目39問 オプション項目27問
設問の内容	「リスクの発生状況」の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動器の機能低下</li> <li>栄養の傾向</li> <li>口腔機能の低下</li> <li>閉じこもり傾向</li> <li>認知機能の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必須4項目重複あり</li> <li>必須13項目</li> <li>オプション7項目</li> </ul>
	「社会資源」等の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>ADL/老研式指標(IADL・社会参加・社会的役割)</li> <li>転倒リスク/認知機能(CPS)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IADL: 必須5項目 オプション0項目</li> <li>転倒リスク: 必須1項目 オプション0項目</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア等への参加頻度</li> <li>たすけあいの状況 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア等への参加頻度</li> <li>たすけあいの状況</li> <li>地域づくりへの参加意向</li> <li>主観的幸福感 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア等への参加頻度</li> <li>たすけあいの状況</li> <li>地域づくりへの参加意向</li> <li>主観的幸福感 等</li> </ul>
標準的な実施方法	解説や案内なし	「実施の手引き」の提示	「実施の手引き」「活用の手引き」の提示
見える化システムへの登録	なし	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目への回答)	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目、オプション項目への回答)

地域診断  
見える化システム

地域診断  
見える化システム

個別介入

必須4項目重複あり

必須13項目  
オプション7項目

IADL: 必須5項目 オプション0項目  
転倒リスク: 必須1項目 オプション0項目

必須18項目  
オプション25項目

必須22項目  
オプション22項目

必須2項目

0

# 第7期→第8期の調査項目の変更①

一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会での検討を勘案し、社会参加の状況を幅広く確認することを目的として、調査項目の追加等したうえで調査を実施する。

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①-⑦それぞれに回答してください						
	週4回 以上	週2 ~3回	週1回 ~3回	月に 1~3回	年に 回数	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加して参加してみたいと思いますか						
1. 是非参加したい      2. 参加してもよい      3. 参加したくない						
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加して参加してみたいと思いますか						
1. 是非参加したい      2. 参加してもよい      3. 参加したくない						

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①-⑧それぞれに回答してください						
	週4回 以上	週2 ~3回	週1回 ~3回	月に 1~3回	年に 回数	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (介護予防のための通いの場等について各町村が併せている名称(通いの場が何種類かある場合は列挙する)を入れる) など) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加して参加してみたいと思いますか						
1. 是非参加したい      2. 参加してもよい      3. 参加したくない      4. 既に参加している						
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加して参加してみたいと思いますか						
1. 是非参加したい      2. 参加してもよい      3. 参加したくない      4. 既に参加している						

追加

オプション  
→必須

選択肢  
追加

選択肢  
追加

## 第7期→第8期の調査項目の変更②

「認知症施策推進大綱」(令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定)において「認知症の相談窓口について、関係者の認知度2割増加、住民の認知度1割増加」がKPIとして設定された。その達成状況を定期的に把握するため、ニーズ調査する機会を活用して、認知症に関する相談窓口の認知度を調査することとした。

(新設)



問8	認知症にかかる相談窓口の把握について	
(1)	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか	
1.	はい	
	2.	いいえ
(2)	認知症に関する相談窓口を知っていますか	
1.	はい	
	2.	いいえ